

市内の介護の確保のため 根室市が新規デイサービス開設の 支援補助を緊急的に提案

根室市内では5月末で介護事業所が撤退したことに
より、他施設の介護サービス体制が逼迫しています。
そのため根室市は6月定例会月議会で、デイサービス事
業の新規開設にむけた補助の上乗せを補正予算で緊急
的に提案する予定です。

新規の利用が困難な状況に

今年5月末で撤退したデイ
サービスに通っていた利用者
約60名、居宅介護支援の利用
者約80名の方々は概ね市内の
他事業所に移転しています。

しかし、そのために他のデイ
サービス事業所では、定員一
杯の状況となり、「利用待機」
も生じる状況となっておりま
した。その解消のため、市は緊急
的に補助制度を上乗せする形
で、新規デイサービス事業所を
募集する予定です。

事業内容は「認知症対応型通
所介護」で、認知症の診断を受
けた方が利用の対象となりま
す。市内では既に2事業所で
実施されています。



市内の介護体制はまだ脆弱

ただ認知症対応通所介護
は一日の定員が12名以下と
比較的小規模な施設です。

今後の高齢化によって介護
ニーズがますます高まること
が予想されます。これからも
介護事業所をさらに広げる
ことが必要です。

その他、介護人材の課題で
は、居宅介護支援事業所が撤
退したこともありケアマネの
体制も逼迫しています。

さらにホームヘルパーの体
制についても従来から厳しい
上に、特に今はコロナ禍で、
利用者が発熱など症状があ
る場合は、利用が休止とな
ることもあるそうです。

介護分野に従事する看護師
など医療系専門職の不足も
引き続きの課題です。

介護事業所は地域で住民の
方々が安心して暮らし続け
るための地域包括ケアの拠点
です。利用者と家族の生活を
支えるサービス提供体制を、
拡充していくための取り組み
は引き続き必要と考えます。



6月定例会議会の一般質問の項目

市議会の任期中最後の定例会議会が6月15日～18
日に開催されます。今回は8人が一般質問を行います。

6月15日(火) 2番目 橋本 竜一

1. 市財政運営について
(1)新型コロナウイルス感染症に関する諸施策に係
る財源対策について
(2)今後の財政運営の課題について
2. 教育に関する諸課題について
(1)生活困窮等の諸課題に対応する学校教育と福祉
分野の連携について
(2)学校等の施設整備・補修等について
(3)放課後教室等について
3. 介護・福祉サービス体制の確保について

6月15日(火) 3番目 鈴木 一彦

1. ワクチン接種に係る諸課題について
(1)これまで明らかになった問題点と今後の対応に
ついて
(2)総合文化会館を接種会場としたことによる市民
の文化活動への影響について
2. 市立根室病院の外来診療・入院等の一部制限に係る
諸課題について

全国の自治体で、視覚障害
など持った方のコロナワクチ
ンの予約に関して、様々な問
題が生じていることが報道さ
れていました。
厚生省は今年3月に予防接
種に関して情報周知などを
点字や拡大文字などで表記
するといった障害特性に応じ
た「合理的配慮」を自治体に
求める通知を出しています。

根室市では65歳以上の視覚
障害のある方へ、全て電話な
どで連絡をし、予約の意向を
確認したそうです。
また聴覚障害のある方につ
いても状況を確認しながら、
手話通訳者の協力を得たり、
フアックス等でも予約を受け付
けたそうです。

視覚障害、聴覚障害などを持った方への 市の新型コロナワクチン接種の対応は？

当日の接種会場では、家族
や手話通訳の方が同行する
等のほか、必要な場合は会場
スタッフが付き添って対応し
たこともあったそうです。
そのほか車イスや寝たきり
の方などの対応についても、
接種会場スタッフの方々が
「とてもスムーズに、親切な対
応をしてくれた」との声が市
民から聞かれます。

市ワクチン接種対策室によ
ると、今後若い世代への接種
が始まるが、障害をもった方
への対応について、引き続き
課題など検討している、と。
また「予約や接種会場内
の対応など、何か不安なこと
があれば、市まで問い合わせ
下さい」と話していました。